

令和 7 年度 事務事業一覧表(シート作成成分を除く)					担当課	農政畜産課	担当G	農政グループ	作成日	令和 7 年 7 月 1 日	作成						
振興計画体系					総合戦略体系	事業名	事業目的	事業内容	令和6年度 事業費(千円)					実施状況	成果	課題	今後の方向性
									国県支出金	その他 特定財源	一般財源 (志基金含む)	合計	前年度比				
3	2	1	1	2		農業次世代人材投資事業(経営開始型)	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する資金を交付する。	独立・就農時(経営開始計画に即して主体的に農業経営を行っている者)の年齢が、原則49歳未満の者に対し、年間最高150万円を最長5年間交付する。	4,781		1	4,782	40%	令和6年度実績 (1) 給付者 4名 (2) 交付額 4,680,837円 (3) 事務費 100,326円 合計 4,781,163円	事業対象者は、独立・自営就農者であり、経営リスクを負っている。新規就農者の経営が軌道に乗るまでを支援することを目的としており、担い手の育成確保に結びついた。		現状維持
3	2	1	2	4		ツーリズム推進事業	滞在体験型余暇活動を創出し、都市と農村の交流を図る。	志布志市“志”ツーリズム協議会の会員を対象に受入研修会や、日帰り体験メニューの作成、県外の修学旅行生の受け入れ、農家民宿の開業支援等を行う。			393	393	129%	総会、修学旅行受入、日帰り体験事業の実施、各種研修会の実施等	研修会や講習会、先進地研修など積極的に活動を行った。教育旅行の受け入れを行っている。	新規会員の確保ができていない状況がある。	現状維持
3	2	1				志布志市生活研究グループ連絡協議会支援事業	農山漁村の男女が共に参画する豊かで活力ある農村社会の実現及び、農林漁業の振興に資する。	郷土料理教室の実施、先進地事例研修、広報紙面での生活の知恵の普及、曾於地域生活研究グループ連絡協議会の総会・研修会への参画、子育て世代を対象とした食文化継承の取組促進業務委託等。			44	44	96%	総会、郷土料理教室の実施、自主加工研修の実施、市報掲載等	郷土料理や防災食などの料理教室をはじめ、市報による「田舎のたしなみ」と題し、伝統技術などの情報発信を行っている。	会員の高齢化が進んでいる。また、新規会員の確保も困難な状況となっている。	現状維持
3	2	1				志布志市ブルーファーマーズ育成事業補助金	農業後継者であるクラブ会員相互の親睦と融和を図りながら、いずれ経営者となる青年が必要な情報を得たり、学んだりする場となる事業を実施しているブルーファーマーズクラブの活動を支援する。	将来の農業の担い手に必要な知識や情報を習得する機会を積極的に活用し、情報交換することで青年農業者の独立自営に寄与する。			63	63	100%	総会、新規就農励ましの会出席、定例会の開催、各種研修会の実施・参加、県農業青年交換大会の参加等	会員相互の親睦と融和を図ったとともに、知識・技術の交換、技術向上のための研究により、クラブ員の知識・技術の向上及び後継者の育成が図られた。		現状維持
3	2	1	1	1		農地中間管理事業	農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行い、農地の集積・集約化、農業経営の規模拡大及び新規就農者等による農用地等の効率的利用を促進し、農業の生産性向上を図る。	農地中間管理機構が一旦、農地所有者から借受け、集積・集約化し、規模拡大や経営農地の集約を行いたい担い手に貸付を行う事務を委任を受けて実施する。また機構に貸付を行った地域・個人の内、要件を満たした地域・個人に協力を交付する。	1,204	9,010	1,584	11,798	88%	農地所有者から借受け、集積・集約化し、規模拡大・農地集約を行いたい担い手への貸付業務を実施 森山道重地区へ地域集積協力を交付	令和6年度実績 機構集積協力金交付事業 (1) 地域集積協力金 1,203,600円 (2) 集約化奨励金 活用なし	過疎と高齢化が進み、農業後継者・担い手不足の状況にあり、中山間地域を中心に農地の維持管理が困難になってきている。また、農地の相続等行われいない農地が多く、中間管理業務に支障をきたしている。	現状維持 ※農地中間管理事業の一部(農地の貸借業務)は、農業委員会へ移管
3	2	1	1	2		新規就農育成総合対策事業(経営開始資金)	次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。	独立・就農時(経営開始計画に即して主体的に農業経営を行っている者)の年齢が、原則49歳未満の者に対し、年間最高150万円を最長3年間交付する。	20,350		2	20,352	79%	令和6年度実績 (1) 給付者 15名 (2) 交付額 20,250,000円 (3) 事務費 101,426円 合計 20,351,426円	新規就農者の経営が、軌道に乗るまで支援するより、担い手の育成確保に結びついた。		現状維持

振興計画体系			総合戦略体系		事業名	事業目的	事業内容	令和6年度 事業費(千円)					実施状況	成果	課題	今後の方向性
								国県支出金	その他 特定財源	一般財源 (志基金含む)	合計	前年度比				
3	2	1	1	2	かごしまの農業未来創造支援事業 (経営発展支援)	次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農後の経営発展のために機械や施設等の導入を支援する。	49歳以下で新たに農業経営を開始する認定新規就農者に対して、機械・施設等の補助対象事業費(上限1,000万円)の4分の3を交付する。ただし、新規就農者育成総合事業(経営開始資金)の交付対象者は、上限500万円とする。	39,792			39,792	96%	令和6年度実績 (1) 給付者 8名 (2) 交付額 39,792,000円 (3) 事務費 0円 合計 39,792,000円	就農後の機械や施設等の導入を支援することで、新たに農業経営を開始した者の経営発展に結びついた。		現状維持
3	2	2			生産性の高い水田農業確立推進事業	地域の水田を最大限に活用し、 需要 に応じた米(主食用、飼料 用 など)の生産の推進や生産性の高い水田農業の確立を図る。	・実効性のある需要調整の推進 ・地域振興作物や新規需要米等の産地化、作物の団地化及び水田フル活用等の推進	178		1	179	86%	令和6年産生産 生産量 2,410 t 面積 500.80 ha 単 収 481.34 kg/10a	主食用米の作付増加及びWCS用稲等に対する直接支払交付金の活用により、農家所得の向上が図られた。		現状維持
3	2	1			農業制度資金利子助成事業(農業近代化資金等)	農業経営の基盤の確立と近代化のために経営改善に必要な資金を借り入れた農業者等の償還負担の軽減を図るため利子補給並びに利子助成を行うことで、農業の振興と農業者の生活の向上に資する。	農業近代化資金、農業経営基盤強化資金及び農業振興資金の借入金に対する利子助成及び利子補給を行う。	14		2,447	2,461	159%	令和6年度実績 資金別内訳 (1) 農業近代化資金 103件 2,432,816円 (2) 農業経営基盤強化資金 3件 27,257円 (内県補助金 13,627円)	経営意欲と能力のある農業の担い手が経営改善を行うのに必要な資金借入に伴う自己負担が軽減された。		現状維持
3	2	1			経営継承・発展支援事業	担い手の高齢化が進行する中、担い手から経営を継承し、発展させるための取り組みを支援することにより、将来に渡り地域の農地利用等を担う経営体を確保する。	人・農地プランに位置づけられた中心経営体等から経営を継承した後継者が、その経営を発展させるための経営発展計画に基づいて実施する取り組みに必要な経費を補助する。				0	0%	令和6年度実績 (1) 給付者 0名 (2) 交付額 0円	事業申請の実績なし		現状維持